

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	改訂版 現代の国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【思考を深める】「わらしべ長者」の経済学、政治的思考、ものごと					
	後期	【思考を深める】浪費を妨げる社会、他者を理解すること 【考えを表す】問題を提起する、対比する、賛否を述べる、解釈を述べる、意見を述べる、背景を調べる、関連付ける					
評価の観点 評価の方法	定期テスト70%、プレゼンテーション・論述・現代文単語等30%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	総合国語						
教科書及び 使用教材等	表現トレーニング教材 共通テスト対応読解問題集等					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに言語文化に対する理解を深める。創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う能力を高める。						
学習計画		文法や語彙などの基礎力を確かなものにする。 文章の推敲 情報を批判的に読む					
	後期	文法や語彙などの基礎力を確かなものにする。 評論・小説読解演習					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	現代文・古文・漢文をバランスよく取り扱う予定です。 学習の状況に応じて古典文法の比重を大きくします。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	改訂版 言語文化 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、伊勢物語、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集と近代短歌の比較探究					
	後期	土佐日記、おくのほそ道、戦国策、韓非子、列子、羅生門と今昔物語集の比較探究					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	改訂版 現代の国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【思考を深める】「わらしべ長者」の経済学、政治的思考、ものごと					
	後期	【思考を深める】浪費を妨げる社会、他者を理解すること 【考えを表す】問題を提起する、対比する、賛否を述べる、解釈を述べる、意見を述べる、背景を調べる、関連付ける					
評価の観点 評価の方法	定期テスト70%、プレゼンテーション・論述・現代文単語等30%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	改訂版 言語文化 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、伊勢物語、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集と近代短歌の比較探究					
	後期	土佐日記、おくのほそ道、戦国策、韓非子、列子、羅生門と今昔物語集の比較探究					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	改訂版 現代の国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【思考を深める】「わらしべ長者」の経済学、政治的思考、ものごとくば					
	後期	【思考を深める】浪費を妨げる社会、他者を理解するということ 【考えを表す】問題を提起する、対比する、賛否を述べる、解釈を述べる、意見を述べる、背景を調べる、関連付ける					
評価の観点 評価の方法	定期テスト70%、プレゼンテーション・論述・現代文単語等30%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	改訂版 言語文化 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、伊勢物語、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集と近代短歌の比較探究					
	後期	土佐日記、おくのほそ道、戦国策、韓非子、列子、羅生門と今昔物語集の比較探究					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	ベーシックコース
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編 現代の国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【言葉を学ぶ】 「学び始める春」 「水の東西」 「目指す世界の地図を作る」 【言葉を使う】 スピーチ					
	後期	【言葉を学ぶ】 「世間話はなぜするか」 「『わらしべ長者』の経済学」 【言葉を使う】 「発表の方法 プレゼンテーション」					
評価の観点 評価の方法	定期テスト70%、プレゼンテーション・論述20%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	ベーシックコース
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編 言語文化 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、訓読のきまり、格言、日本文化に残る漢文の影響を探る					
	後期	伊勢物語、おくのほそ道、故事成語、和歌の内容を現代の場面に当てはめ表現する					
評価の観点 評価の方法	定期考査や確認テストの成績、および観点別評価を総合して評価します。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	古典探究 古文編・漢文編 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。共通テストや難関大学受験に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	説話・歌物語・随筆・故事・漢詩：古文・漢文文法・古典探究活動					
	後期	歴史・軍記物語・日記文学・史伝・思想・古典探究活動					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	この授業は古典を通じて、伝統と文化からその重要性を理解し、古典の意義や価値について探究するものです。各時代の人間や社会、自然等に対する捉え方や感じ方を理解し、日本文化への理解を深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試を見据え、長文の読解能力を高める。また、論理的に文章を読む力を育てる。						
学習計画	前期	広中平祐「学問の発見」 上田紀行「『内的成長』社会へ」 長田弘「国境を越える言葉」					
	後期	野矢茂樹「日本語は非論理的か」 藤田省三「『安楽』への全体主義」 小浜逸郎「人はなぜ働かなくてはならないのか」					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	論理的思考力を身につけるための教科です。常に文意とその論拠を考えながら文章に向き合しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試を見据え、長文の読解能力を高める。また、論理的に文章を読む力を育てる。						
学習計画	前期	広中平祐「学問の発見」 上田紀行「『内的成長』社会へ」 長田弘「国境を越える言葉」					
	後期	野矢茂樹「日本語は非論理的か」 藤田省三「『安楽』への全体主義」 小浜逸郎「人はなぜ働かなくてはならないのか」					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの 一言	論理的思考力を身につけるための教科です。常に文意とその論拠を考えながら文章に向き合しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	古典探究 古文編・漢文編（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古文・漢文の文法を身につけると共に、表現に即して文章の内容や筆者の意図を読み取る能力を養う。 共通テストや難関大学受験に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	説話・歌物語・随筆・故事・漢詩：古文・漢文文法・古典探究活動					
	後期	歴史・軍記物語・日記文学・史伝・思想・古典探究活動					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	この授業は古典を通じて、伝統と文化からその重要性を理解し、古典の意義や価値について探究するものです。各時代の人間や社会、自然等に対する捉え方や感じ方を理解し、日本文化への理解を深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	古典探究 古文編・漢文編（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。 共通テストや難関大学受験に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	説話・歌物語・随筆・故事・漢詩：古文・漢文文法・古典探究活動					
	後期	歴史・軍記物語・日記文学・史伝・思想・古典探究活動					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	この授業は古典を通じて、伝統と文化からその重要性を理解し、古典の意義や価値について探究するものです。各時代の人間や社会、自然等に対する捉え方や感じ方を理解し、日本文化への理解を深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	広中平祐「学問の発見」 上田紀行「『内的成長』社会へ」 長田弘「国境を越える言葉」					
	後期	野矢茂樹「日本語は非論理的か」 藤田省三「『安楽』への全体主義」 小浜逸郎「人はなぜ働かなくてはならないのか」					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	論理的思考力を身につけるための教科です。 常に文意とその論拠を考えながら文章に向き合いきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	アドバンス文系コース
科目名	文学国語						
教科書及び 使用教材等	文学国語（東京書籍）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	基礎的な文法・語彙を確認することから始め、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。随筆 「光の窓」「雨月物語」 評論「言葉を生きる」若松英助 小説「山月記」					
	後期	多くの文章を読み、思考力を深める。 評論 「詩と感情生活」鮎川信夫 「文学のふるさと」坂口安吾 小説「山椒魚」井伏鱒二					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	学ぼうと思った時に一人で学ぶことができる基礎力を身につけてください。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	アドバンス文系コース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	新編 古典探究 (東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。生涯にわたって古典を主体的に学ぶ基礎を培う。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語「小野篁、広才のこと」 十訓抄「大江山」 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 方丈記「ゆく河の流れ」 故事成語 (蛇足、断腸、知音) 竹取物語「天の羽衣」 土佐日記「馬のはなむけ」					
	後期	更級日記「門出」 平家物語「壇の浦の合戦」 唐詩 (宿建徳江など八首) 史記「鴻門之会」 「四面楚歌」 小倉百人一首					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	古典に出てくる言葉は現代の私たちが使っている言葉と全く違う言葉ではありません。古典の表現の奥に、現代に生きる自分のところに共鳴する古人のころがあることを発見して欲しいと思います。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	スタンダードコース
科目名	文学国語						
教科書及び 使用教材等	文学国語 (東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	広中平祐『学問の発見』 上田紀行『「内的成長」社会へ』 小浜逸郎『人はなぜ働かなければならないのか』					
	後期	岩井克人『未来世代への責任』 野矢茂樹『日本語は非論理的か』 藤田省三『「安楽」への全体主義』					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	論理的思考力を身につけるための教科です。常に文意とその論拠を考えながら文章に向き合しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	スタンダードコース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	新編 古典探究 (東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、生涯にわたって古典を主体的に学ぶ基礎を培う。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語「小野篁、広才のこと」 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 方丈記「ゆく河の流れ」 故事成語 (蛇足、断腸、知音)					
	後期	更級日記「門出」 唐詩 (宿建徳江など八首) 史記「四面楚歌」 小倉百人一首					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	古典に出てくる言葉は現代の私たちが使っている言葉と全く違う言葉ではありません。古典の表現の奥に、現代に生きる自分のところに共鳴する古人のころがあることを発見して欲しいと思います。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語 (数研出版) 共通テスト対策問題集					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試、特に共通テストで最高点を取ることを目指す。						
学習計画	前期	基礎的なことから始め、特に長文を速いスピードで読み解き、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	論理的思考力・読解力を身につけましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	共通テスト対策問題集					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、共通テストや難関大学入試に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	文法や句法などの基礎力を確かなものにする。また、ある程度ボリュームのある文章を読み、内容を理解する力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	日本文化のルーツに触れ、自分の感受性を刺激してみよう。さらに、受験に必要な文法・句法・語彙力をUPさせよう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	小論文ジャンル別キーワード解説(桐原書店)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際 ②政治・経済 ③環境 ④科学・技術 ⑤情報・通信 ⑥教育 ⑦医療・健康 ⑧福祉 ⑨社会 各自が設定した研究テーマについてプレゼンテーションを行う。					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。 各自が設定した研究テーマについて論文を書く。					
評価の観点 評価の方法	・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確かつ論理的に表現できることを、評価の観点とします。 ・定期考査、提出課題によって評価します。						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語(数研出版) 共通テスト対策問題集					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試、特に共通テストで最高点を取ることを目指す。						
学習計画	前期	基礎的なことから始め、特に長文を速いスピードで読み解き、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	長文に慣れること、主観的な読み方を捨てること、この二つを念頭に置いて取り組んでください。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	共通テスト対策問題集					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、共通テストや難関大学入試に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	文法や句法などの基礎力を確かなものにする。また、ある程度ボリュームのある文章を読み、内容を理解する力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	日本文化のルーツに触れ、自分の感受性を刺激してみよう。さらに、受験に必要な文法・句法・語彙力をUPさせよう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	小論文ジャンル別キーワード解説(桐原書店)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際 ②政治・経済 ③環境 ④科学・技術 ⑤情報・通信 ⑥教育 ⑦医療・健康 ⑧福祉 ⑨社会 各自が設定した研究テーマについてプレゼンテーションを行う。					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。 各自が設定した研究テーマについて論文を書く。					
評価の観点 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確かつ論理的に表現できることを、評価の観点とします。 ・定期考査、提出課題によって評価します。 						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。 苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語(数研出版) 共通テスト対策問題集					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試、特に共通テストで最高点を取ることを目指す。						
学習計画	前期	基礎的なことから始め、特に長文を速いスピードで読み解き、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	長文に対する耐性を付け、文章全体から重要な部分を探し出す能力を付けてほしいと思います。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	古典探究 古文編・漢文編(数研出版)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。大学受験に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	説話・歌物語・随筆・故事・漢詩：古文・漢文文法・古典探究活動					
	後期	歴史・軍記物語・日記文学・史伝・思想・古典探究活動					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	この授業は古典を通じて、伝統と文化からその重要性を理解し、古典の意義や価値について探究するものです。各時代の人間や社会、自然等に対する捉え方や感じ方を理解し、日本文化への理解を深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	アドバンス文系コース
科目名	文学国語						
教科書及び 使用教材等	文学国語(東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	随筆「国語から旅立って」 小説「コンビニの母」 詩歌「金剛の露一俳句抄」					
	後期	随筆「クレールという女」 小説「檸檬」「蠅」 【言語活動】さまざまな資料を調べて発表する					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	学ぼうと思った時に一人で学ぶことができる基礎力を身につけてください。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	ジャンル別 キーワード解説(桐原書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際 ②政治・経済 ③環境 ④科学・技術 ⑤情報・通信 ⑥教育 ⑦医療・健康 ⑧福祉 ⑨社会 各自が設定した研究テーマについてプレゼンテーションを行う。					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。 各自が設定した研究テーマについて論文を書く。					
評価の観点 評価の方法	・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確かつ論理的に表現できることを、評価の観点とします。 ・定期考査、提出課題によって評価します。						
教師からの メッセージ	小論文を書けるようになるためには必要なステップがいくつかあります。一つずつ乗り越えていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	アドバンス文系コース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	新編 古典探究(東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典について主体的に理解・関心を深めることによって人生を豊かにし、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させる態度を育てる。						
学習計画	前期	枕草子・伊勢物語・大鏡・寓話					
	後期	源氏物語・三国志					
評価の観点 評価の方法	・古語の意味、文法や句法の理解度を小テストによって評価します。 ・定期考査、提出課題、授業態度によって評価します。						
教師からの メッセージ	日本文化のルーツに触れ、自分の感受性を刺激してみよう。 さらに、古典作品に関わりのある人物や場所、出来事などに興味を広げ調べてみよう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	アドバンス文系コース
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	小論文ジャンル別キーワード解説 (桐原書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際 ②政治・経済 ③環境 ④科学・技術 ⑤情報・通信 ⑥教育 ⑦医療・健康 ⑧福祉 ⑨社会					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。					
評価の観点 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確かつ論理的に表現できることを、評価の観点とします。 ・定期考査、提出課題によって評価します。 						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	スタンダードコース
科目名	文学国語						
教科書及び 使用教材等	文学国語(東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	随筆「国語から旅立って」 小説「コンビニの母」					
	後期	随筆「クレールという女」 小説「蠅」 評論「演技する私」					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	学ぼうと思った時に一人で学ぶことができる基礎力を身につけてください。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	スタンダードコース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	新編古典探究(東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
学習計画	前期	枕草子・大鏡 漢文 蛇足・断腸					
	後期	大和物語・徒然草 漢文 史記・十八史略					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、主体的に取り組む態度15%、思考力・表現力15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	1000年前の文章を高校生の君たちが読めることは、ほかの国ではなかなかあり得ないことです。先人の考えたこと、見方を今と比べて、人生の幅を広げてください。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学 I					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅱ・数学B (数研出版) 基礎からの数学Ⅱ+B+C (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	高校2年生で学習する内容を先取りで学習することで、基礎基本の定着だけでなく応用力を備えた学力の定着を図る (数学Ⅱ終了後、数学Bの教科書へ移行予定)						
学習計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式					
	後期	第4章 三角関数 第5章 指数関数・対数関数 第6章 微分法・積分法					
評価の観点 評価の方法	定期考査や単元テスト、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学 A					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅱ・数学B (数研出版) 基礎からの数学Ⅱ+B+C (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	高校2年生で学習する内容を先取り学習することで、基礎基本の定着だけでなく応用力を備えた学力の定着を図る (数学Ⅱ終了後、数学Bの教科書へ移行予定)						
学習計画	前期	数学Ⅱと直列で実施するため、数学Ⅱの内容と同じ					
	後期	数学Ⅱと直列で実施するため、数学Ⅱの内容と同じ					
評価の観点 評価の方法	定期考査や単元テスト、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	数学 I					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学I (数研出版) 4プロセスI+A (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						
学習計画	前期	第1章 数と式 第2章 命題と集合 第3章 2次関数 第4章 図形と計量 第5章 データの分析					
	後期	数学Aの内容を実施する。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	数学 I					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学I (数研出版) 4プロセスI+A (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Iの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学Iが終わり次第、数学Aに入ります。					
	後期	第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース	
科目名	数学Ⅰ							
教科書及び 使用教材等	新編数学Ⅰ(数研出版)					履修形態	必修	
	基本と演習テーマ 数学Ⅰ+A(数研出版)					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰの基礎から応用まで幅広い知識や基礎力を身に付け、一般受験に対応できる生徒を育てることを目標とする。							
学習計画	前期	第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数						
	後期	第4章 図形と計量 第5章 データの分析						
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、基礎力診断テストを中心に宿題の提出、予・復習のチェックなどを総合的に判断して行う							
教師からの メッセージ	授業の予習復習を徹底してください。また、毎時間の練習問題にきちんと取り組んでください。一つ一つ丁寧に理解していきましょう。							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース	
科目名	数学A							
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅰ(数研出版)					履修形態	必修	
	高等学校 数学A(数研出版) 基本と演習テーマ 数学Ⅰ+A(数研出版)					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰの基礎から応用まで幅広い知識や基礎力を身に付け、一般受験に対応できる生徒を育てることを目標とする。							
学習計画	前期	数学Ⅰ 第2章 集合と命題 数学A 第1章 場合の数と確率						
	後期	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質						
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、基礎力診断テストを中心に宿題の提出、予・復習のチェックなどを総合的に判断して行う							
教師からの メッセージ	授業の予習復習を徹底してください。また、毎時間の練習問題にきちんと取り組んでください。一つ一つ丁寧に理解していきましょう。							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程 普通コース	
科目名	数学Ⅰ							
教科書及び 使用教材等	最新 数学Ⅰ(数研出版)					履修形態	必修	
	3 ROUNDⅠ+A(数研出版)					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	高校の数学の基礎的な内容の理解を目標とします。							
学習計画	前期	第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 (中学校の学びなおしを行いながら)						
	後期	第3章 2次関数 第4章 図形と計量 (中学校の学びなおしを行いながら)						
評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、普段の授業、提出物その他を総合的に判断して評価します。							
教師からの メッセージ	予習をし、1時間1時間の授業を大切に、授業後は復習を行ってください。この3つのサイクルを確立してしっかりとした知識を習得し、学力の向上を目指しましょう。							

教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫課程	
科目名	数学Ⅱ							
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B 数学C[数研出版]					履修形態	必修	
						授業形態	習熟度授業	
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ～Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。							
学習計画	前期	数学B 第1章 数列 数学C 第1章 平面ベクトル 第2章 空間ベクトル						
	後期	理系：数学C 第3章 複素数平面 第4章 式と曲線 文系：数学B 統計的な推測						
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。							
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。							

教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学B					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B 数学C [数研出版]					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ～Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習 計画	前期	数学Ⅱと直列で実施するため、数学Ⅱの内容と同じ					
	後期	数学Ⅱと直列で実施するため、数学Ⅱの内容と同じ					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学Ⅰ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅱ・数学B (数研出版) 基礎からの数学Ⅱ+B+C (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	高校2年生で学習する内容を先取りで学習することで、基礎基本の定着だけでなく応用力を備えた学力の定着を図る(数学Ⅱ終了後、数学Bの教科書へ移行予定)						
学習 計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式					
	後期	第4章 三角関数 第5章 指数関数・対数関数 第6章 微分法・積分法					
評価の観点 評価の方法	定期考査や単元テスト、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	イノベーション特進 コース
科目名	数学Ⅱ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅱ・数学B (数研出版) 基礎からの数学Ⅱ+B+C (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学ⅠAの内容を踏まえてより高度な内容を学び、大学入試へ対応できる学力を身につけることを目標とします。						
学習 計画	前期	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数・対数関数					
	後期	第6章 微分法・積分法 数学B 第1章 数列 数学C 第1章 ベクトル					
評価の観点 評価の方法	定期考査や単元テスト、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進 コース
科目名	数学B					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅱ・数学B (数研出版) 基礎からの数学Ⅱ+B+C (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学ⅠAの内容を踏まえてより高度な内容を学び、大学入試へ対応できる学力を身につけることを目標とします。						
学習 計画	前期	数学Ⅱと直列で実施するため、数学Ⅱの内容と同じ					
	後期	数学Ⅱと直列で実施するため、数学Ⅱの内容と同じ					
評価の観点 評価の方法	定期考査や単元テスト、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	数学B						
教科書及び 使用教材等	新編 数学B(数研出版)					履修形態	必修
	基本と演習のテーマ数学II+B(数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学I・Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学B 第1章 数列					
	後期	数学B 第2章 統計的な推測					
評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、豆テスト、予習・復習、宿題、提出物、授業態度などその他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	予習・復習をし、1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。さらに問題集などで力をつけましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 アドバンス文系コース
科目名	数学A						
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学I [数研出版]					履修形態	必修
	改訂版 最新 数学A [数研出版] 3ROUND 数学I+A (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高校の数学の初歩的な内容の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学I 第4章 図形と計量 第5章 データの分析					
	後期	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	予習・復習を行い、1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	数学A						
教科書及び 使用教材等	最新 数学I [数研出版]					履修形態	必修
	最新 数学A [数研出版] 3ROUND 数学I+A (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高校の数学の初歩的な内容の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学I 第4章 図形と計量 第5章 データの分析					
	後期	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	予習・復習を行い、1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	数学III C						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学III [数研出版]					履修形態	選択
	例題から学ぶ数学III [実教出版] ベーシックスタイル数学演習III C					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	微分積分の内容を中心に扱う。論理的な思考と正確な計算力を高めることを目標とする。また、後期には入試演習を行い大学入試に対応できる学力を身につける。						
学習計画	前期	第3章 微分法 第4章 微分法の応用 第5章 積分法					
	後期	入試問題演習					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、基礎力診断テストを中心に宿題の提出、予・復習のチェックなどを総合的に判断して行う						
教師からの メッセージ	難関大学合格へ向けて高度な思考力と計算力を身につけましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	文系数学演習						
教科書及び 使用教材等	クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	難関大学志望者に対する文系数学の重要性を踏まえ、共通テスト対策だけに留まらず、数学の本質を考えさせながら国公立2次・私大記述対策を見据えた演習を実施する						
学習計画	前期	クリアー数学演習を使用し、数学ⅠAⅡBCの弱点強化及び復習を行います。					
	後期	共通テスト対策・基礎問題演習 共通テスト対策・実践問題演習 適宜、模擬試験の復習なども実施予定					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、確認テストなどのテスト点 授業ノート、平日課題ノート、宿題状況、授業態度などの平常点 以上の2点を総合的に判断して評価する						
教師からの メッセージ	志望校の目標得点率を目指し、基礎的な力をしっかりと身に付け、初めて見る問題でも自分の知識を活用しながら突破していく方法を身につけていきましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	理系数学演習						
教科書及び 使用教材等	大学入学共通テスト 重要問題集					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	理系の難関大学志者に対し、推薦入試や一般入試を見据えた演習を実施する。数学の用語を計算方法を正しく、簡潔に表現する力を身に付けたい。						
学習計画	前期	過去の入試問題に取り組み、問題の解説をプレゼン形式の反転学習を実施する。					
	後期	共通テスト対策と並行して、一般入試に向けて答案の書き方の練習を行う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	難関大学への合格に向けて様々な表現の仕方に慣れ、誤りの内容に仕上げるよう反復練習しながら、徹底した対策を講じよう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	文系数学演習						イノベーション探究コース
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B 例題から学ぶ数学B+C 入試必修問題集 精練					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	難関大学志望者に対する文系数学の重要性を踏まえ、共通テスト対策だけに留まらず、数学の本質を考えさせながら国公立2次・私大記述対策を見据えた演習を実施します。						
学習計画	前期	第2章 統計的な推測 精練を使用し、数学ⅠAⅡBCの弱点強化及び復習を行います。					
	後期	精練を使用し、数学ⅠAⅡBCの弱点強化及び復習を行います。 共通テスト対策・基礎問題演習 共通テスト対策・実践問題演習 適宜、模擬試験の復習なども実施予定					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	志望校の目標得点率を目指し、基礎的な力をしっかりと身に付け、初めて見る問題でも自分の知識を活用しながら突破していく方法を身につけていきましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	数学ⅢC						イノベーション探究コース
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅲ（数研出版） 高等学校 数学C（数研出版） 入試必修問題集 精練ⅠAⅡBCⅢ（啓林館）					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	微分積分の内容を中心に扱う。論理的な思考と正確な計算力を高めることを目標とする。また、後期には入試演習を行い大学入試に対応できる学力を身につける。						
学習計画	前期	数学Ⅲ第1章関数 第2章極限 第3章微分法 第4章微分法の応用 第5章積分法					
	後期	数学C第3章複素数平面 第4章二次曲線 共通テストに向けた演習 私大・国公立2次試験に向けた演習					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	基礎的な学力や計算力を身に着け、解析学の基礎を味わいましょう。 1つ1つの定義、定理を確実に理解し難問へ挑戦する姿勢を身につけましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	理系数学演習					イノベーション探究コース	
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅲ 高等学校 数学C 入試必修問題集 精練1AⅡBCⅢ					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	前期は微分積分の内容を中心に扱う。論理的な思考と正確な計算力を高めることを目標とする。 また、後期には入試演習を行い大学入試に対応できる学力を身につける。						
学習計画	前期	数学Ⅲ第1章関数 第2章極限 第3章微分法 第4章微分法の応用 第5章積分法					
	後期	共通テストに向けた演習 私大・国公立2次試験に向けた演習					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1つ1つの定義、定理を確実に理解し難問へ挑戦する姿勢を身につけましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	数学Ⅲ					ハイブリッド文理コース	
教科書及び 使用教材等	最新 数学Ⅲ 新編 数学C [数研出版] Study-Upノート数学Ⅲ 基本と演習のテーマ数学ⅡBC [数研出版]					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Cの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学Ⅲ 第1章 関数 第2章 極限 第3章 微分法とその応用					
	後期	数学C 第4章 積分法とその応用 第3章 複素数平面 第4期 式と曲線					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	数学C					ハイブリッド文理コース	
教科書及び 使用教材等	新編 数学B、C数研出版) 基本と演習のテーマ数学Ⅱ+B、C(数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数					
	後期	第5章 指数関数と対数関数 数学C 第1章 平面上のベクトル					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、グループワークでの活動、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	数学Ⅱ					アドバンス文系コース	
教科書及び 使用教材等	最新 数学Ⅱ (数研出版) 3ROUND数学Ⅱ (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						
学習計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第6章 微分法と積分法					
	後期	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式					
評価の観点 評価の方法	定期考査、校内選考テスト、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価し						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	数学Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	最新 数学Ⅱ [数研出版] 高校生の一般常識 + S P I 問題集[実教出版]					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅱにおける基本的な内容の理解及び就職試験における知識の定着、更に数学と人間とのかかわりや数学の有用性についての認識を深めることを目標とします。						
学習計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 一般常識問題及びSPI問題の(就職試験の対策を含む)					
	後期	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第6章 微分法と積分法					
評価の観点 評価の方法	定期考査、校内統一テスト、普段の授業態度、提出物などを踏まえ総合的に判断し評価します。						
教師からの メッセージ	毎回の授業を大切にし確実に知識を定着するようにしましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	コミュニケーション英語Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	ENRICH LEARNING English Communication Ⅰ					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけることができる。						
学習計画	前期	Unit 1～Unit 5					
	後期	Unit 6～Unit 10					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎日の豆テストの他に、次の提出物を組み合わせて、総合的に評価する。 (毎日の家庭学習ノート、毎日の英語長文プリント、教科書の訳文など)						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	論理表現Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	be English Logic and Expression Ⅰ Smart					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて、情報や考え方を的確に理解したり伝えたりする能力を身につけ、それを伸ばすことができる。						
学習計画	前期	Lesson 1～Lesson 5					
	後期	Lesson 6～Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	英語会話						
教科書及び 使用教材等	学研オンライン英会話					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will have conversations in English over the Online Speaking program.						
学習計画	前期	Online Speaking Unit 1 - 10					
	後期	Online Speaking Unit 1 - 10					
評価の観点 評価の方法	Students will be assessed weekly on their conversations. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also check for their progress.						
教師からの メッセージ	Students must use English to respond to questions and they must also be able to comprehend conversations.						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	ENRICH LEARNING English Communication Ⅰ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけることができる。						
学習計画	前期	Unit 1～Unit 5					
	後期	Unit 6～Unit 10					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎日の豆テストの他に、次の提出物を組み合わせて、総合的に評価する。 (毎日の家庭学習ノート、毎日の英語長文プリント、教科書の訳文など)						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅰ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	Power On English Communication Ⅰ					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語学習を通して積極的にコミュニケーションを高めるための基礎学習を4領域を通じて学ぶ。						
学習計画	前期	異文化理解を深め、広い視野をもった人間育成を目標とする。まずは基礎の復習。					
	後期	自ら発信できる英語学習を目指す。					
評価の観点 評価の方法	校内テスト・外部テストに家庭学習と授業態度を加味する。						
教師からの メッセージ	英語は積み重ね学習です。自主学習ノートを毎日提出するのに慣れたら英語がもっと楽しい教科になりますよ。学習しましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	英語会話					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	Hello There					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will be asked to use thier reading, writing, speaking and listening ski						
学習計画	前期	Hello There Unit 1-8					
	後期	Hello There Unit 9-15					
評価の観点 評価の方法	Students will have weekly work to monitor progress. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also be used to assess learning.						
教師からの メッセージ	Students should be working at a level higher than students in 1-4~1-8. Students should gain more confidence to communicate in English.						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	普通 課程 普通 コース
科目名	英語会話					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	Hello There					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will be asked to use thier reading, writing, speaking and listening ski						
学習計画	前期	Hello There Unit 1-8					
	後期	Hello There Unit 9-15					
評価の観点 評価の方法	Students will have weekly work to monitor progress. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also be used to assess learning.						
教師からの メッセージ	Students should gain more confidence to communicate in English.						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	ENRICH LEARNING English Communication Ⅱ					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて、情報や考え方を的確に理解したり伝えたりする能力を身につけ、それを伸ばすことができる。						
学習計画	前期	L4 ~ L8					
	後期	コミュニケーション英語Ⅲの教科書に入ります					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎日の豆テストの他に、次の提出物を組み合わせて、総合的に評価する。 (毎日の家庭学習ノート、毎日の英語長文プリント、教科書の予習など)						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	論理表現Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	be English Logic and Expression II Smart					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 2. 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。						
学習計画	前期	L21 Save the earth L22 Work-Life Balance L23 Tokyo Skytree L24 New Zealand L25 Food self-Sufficiency Expression Workshop 5 英語表現ⅡからL1 School Uniform L2 Online Addiction L3 Comparison Animals L4 Why Homework? Expression Workshop 1					
	後期	L5 My future career L6 Volunteer work L7 Barrier-free society L8 Japanese longevity Expression workshop 3 L9 Universal Signs L10 Color and food L11 Digital vs. analog L12 Living Language Expression workshop 3 L13 visiting Australia L14 My hero L15 Are you ambitious? L16 Denis the menace					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎回の豆テストを総合的に評価する。						
教師からの メッセージ	英文法がわかるようになると、自由に英語で表現できるようになります。まずは英文法の基礎を固め、様々な場面で英語を使えるようにしましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	英語会話						
教科書及び 使用教材等	学研オンライン英会話					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will have conversations in English over the Online Speaking program.						
学習計画	前期	Online Speaking Unit 1 - 10					
	後期	Online Speaking Unit 1 - 10, New Favorite					
評価の観点 評価の方法	Students will be assessed weekly on their conversations. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also check for their progress.						
教師からの メッセージ	Students must use English to respond to questions and they must also be able to comprehend conversations.						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	ENRICH LEARNING English Communication II					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて、情報や考え方を的確に理解したり伝えたりする能力を身につけ、それを伸ばすことができる。						
学習計画	前期	L4 ~ L8					
	後期	コミュニケーション英語Ⅲの教科書に入ります					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎日の豆テストの他に、次の提出物を組み合わせて、総合的に評価する。 (毎日の家庭学習ノート、毎日の英語長文プリント、教科書の予習など)						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	論理表現Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	be English Logic and Expression I Smart					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて、情報や考え方を的確に理解したり伝えたりする能力を身につけ、それを伸ばすことができる。						
学習計画	前期	Lesson 1~Lesson 5					
	後期	Lesson 6 ~Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	論理表現Ⅱ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	be English Logic and Expression II Smart					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 2. 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。						
学習計画	前期	L21 Save the earth L22 Work-Life Balance L23 Tokyo Skytree L24 New Zealand L25 Food self-Sufficiency Expression Workshop 5 英語表現ⅡからL1 School Uniform L2 Online Addiction L3 Comparion Animals L4 Why Homework? Expression Workshop 1					
	後期	L5 My future career L6 Volunteer work L7 Barrier-free society L8 Japanese longevity Expression workshop 3 L9 Universal Signs L10 Color and food L11 Digital vs. analog L12 Living Language Expression workshop 3 L13 visiting Australia L14 My hero L15 Are you ambitious? L16 Denis the menace					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎回の豆テストを総合的に評価する。						
教師からの メッセージ	英文法がわかるようになると、自由に英語で表現できるようになります。まずは英文法の基礎を固め、様々な場面で英語を使えるようにしましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	論理表現Ⅰ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	New Favorite EnglishLogic Expression Ⅰ					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語表現は4領域読む・書く・話す・聞くをカバーしつつも、書く・話すという発信面に主眼を置き自らの意見を表現できる能力を養う。						
学習計画	前期	簡単な英語で自らの考えを発信できる和文英訳から英作文へと英語独特の言い回しに慣れる。					
	後期	課題英作文への助走として自分の考えを文章にできるまでの練習に取り組む。					
評価の観点 評価の方法	英作文としての理論展開が明瞭か発表で機能が要所に使いこなせているか？。						
教師からの メッセージ	英語総合では広すぎる部分も表現では集中して実践でき楽しめます。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	Power On EnglishCommucationⅡ					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。 2. 情報や考え方を適切に理解し伝えることができる 3. 外国の文化などを理解することができる。						
学習計画	前期	Lesson1～Lesson5 食器の歴史、包装について、自然と歴史、民俗音楽、農業の在り方					
	後期	Lesson6～Lesson10 色の効果、温暖化、生態系、シェアリング、行動力					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	毎日1つずつ、新しいことを学びましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	アドバンスドコース
科目名	論理表現Ⅰ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	Big Dipper English Logic Expression Ⅰ					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な英文法をマスターし、会話、作文など発信できる能力を養う						
学習計画	前期	Lesson 1～Lesson 10					
	後期	Lesson 11～Lesson 21					
評価の観点 評価の方法	定期考査、確認テスト、授業態度、ノートやワーク等の提出物などを総合して評価します。						
教師からの メッセージ	英語で「話す」「書く」のに必要な文法は「中学校で習ったもの+α」で十分です。基本						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	ベーシックコース
科目名	コミュニケーション英語Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	Amity English Communication Ⅰ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語学習を通して積極的にコミにケーションを高めるための基礎学習を4領域を通じて学ぶ。						
学習計画	前期	異文化理解を深め、広い視野をもった人間育成を目標とする。まずは基礎の復習。					
	後期	自ら発信できる英語学習を目指す。					
評価の観点 評価の方法	校内テスト・外部テストに家庭学習と授業態度を加味する。						
教師からの メッセージ	英語は積み重ね学習です。自主学习ノートを毎日提出するのに慣れたら英語がもっと楽しい教科になりますよ。練習しましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	アドバンスト・スタンダード コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	Amity English Communication Ⅱ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 情報や考えなどを理解したり、伝えたりすることができる。 言語についての知識を身につけたり、背景にある文化を理解したりすることができる。 						
学習計画	前期	Lesson 1～Lesson 4					
	後期	Lesson 5～Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期考査、確認テスト、授業態度、ノートやワーク等の提出物などを総合して評価します。						
教師からの メッセージ	英語は「反復」が命です。英単語、英文法、読解全てにおいてそれはあてはまります。最初はつらいと感じるかもしれませんが、その努力の先に待っている世界を信じて頑張り抜きましょう。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	共通テストの対策問題					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	共通テストはもちろん英検やGTECなどの検定試験でも高得点を取ることを目標とします。						
学習計画	前期	共通テストの対策問題集を進めていきます。					
	後期	共通テストの対策問題集を進めていきます。					
評価の観点	定期考査の成績だけでなく、毎日の家庭学習ノートや英語長文プリントの提出を加味し						
教師からの	共通テストの問題を数多く解くことによって、得点率はどんどん上がっていきますので、						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	論理表現Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	共通試験英語リスニング問題演習&自由英作文					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	共通試験のリスニングで高得点を取るだけでなく、英検やGTECなどのリスニング問題でも高得点を取ることを目標とします。また大学入試の2次試験に出題される自由英作文にも対応できる力を養成します。						
学習計画	前期	共通テストのリスニング問題演習を進めていきます。また大学入試の英作文の過去問を解いて行きます。					
	後期	共通テストのリスニング問題演習を進めていきます。また大学入試の英作文の過去問を解いて行きます。					
評価の観点	定期考査の成績だけでなく、毎日の家庭学習ノートや英語長文プリントの提出を加味し						
教師からの	共通テストのリスニング問題を数多く解くことによって、得点率はどんどん上がっていき						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課 程
科目名	英語演習						
教科書及び 使用教材等	共通試験対策問題集					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	共通試験の出題形式や内容に慣れ、英語が楽しく教科どなるよう地道に力を付ける。						
学習計画	前期	文法や後文など基礎から応用の復習として実践問題周から始め読解力を高める。					
	後期	2冊目の問題集は共通テスト対策と英作文の発展をし入試対策とする。					
評価の観点 教師からの	授業での積極性、定期試験で評価する。 センター対策の一環として語彙、文法などの実践をしながら過去問に如如にステップアップ						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	MY WAY English CommunicationⅢ					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	その文章が何が言いたいのか(主張)をつかむことが最終目標。そのために語いや構文など細部の理解、読解上のスキルを身につけていくことを目標とする。						
学習計画	前期	Lesson 1 ~ Lesson 15					
	後期	主に大学入試問題を使った演習					
評価の観点 教師からの	定期考査、授業態度、ノート検査等 何となく答えを選ぶのではなく、明確な根拠を持って答えるようにしよう。そして、一度						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	論理表現Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	テーマについて自分の考えを書く・述べる					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	SpeakingやWritingでよく使う表現をマスターし、英語表現力を向上させる						
学習計画	前期	主に短文レベルの和文英訳で、文法や表現を学ぶ					
	後期	大学入試英作文問題で実践力を養う					
評価の観点 教師からの	評価テスト、定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。 重箱の隅をつつくような文法ではなく、日常的によく使う表現をマスターすること。最小						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	英語演習						ハイブリッド文理コース
教科書及び 使用教材等	共通テスト対策講座					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will be translating full sentences from Japanese to English. Writing essays in English.						
学習計画	前期	Passport To English Unit 1-20, Writing Master 1-10					
	後期	Passport to English 21-30, Writing Master 11-20.					
評価の観点 教師からの	Daily lessons will be used to monitor progress. Mid-Terms, Final and Evaluation Students will be asked to form and write opinions in English. Spelling and						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	All Aboard English Communication III					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	4領域の発展の時期、できるだけたくさん情報を英文から学び積極的に他者に伝達でき						
学習計画	前期	文構成など文法の応用から多読精読もどき授業展開に慣れる。					
	後期	進研模試、英検等で結果を出せるようにする。					
評価の観点 教師からの	定期考査、授業態度の積極性、業者テスト、提出物から判定する。 ほとんどの生徒が英検準2級取得者または同等の実力がついているので						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	論理表現Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	New Favorite English Logic Expression II					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語で表現するための本格的なルールを楽手する						
学習計画	前期	Part 1 Lesson 20, 21 Part 2 Lesson 1~8					
	後期	Part 2 Lesson 9~15					
評価の観点 教師からの	定期試験の得点と課題の提出の得点によって。試験のポイントは文の構造を正しく理解し 英文を正しく、速く読むことができる能力は他の聞く、話す、書く能力を高める土台にな						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ						アドバンストコース
教科書及び 使用教材等	COMET English Communication III					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語の文章を正確に、速く読んで内容を理解することができる能力を養う						
学習計画	前期	Lesson 1~Lesson 5					
	後期	Lesson 6~Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期試験の得点と課題の提出の得点によって。試験のポイントは文の構造を正しく理解し ているかどうか、学習した単語・語句をどれくらい覚えているかどうか。						
教師からの メッセージ	英文を正しく、速く読むことができる能力は他の聞く、話す、書く能力を高める土台にな ります。時間をかけることによって慣れてきますから根気よく努力してください。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ						スタンダードコース
教科書及び 使用教材等	Amity English Communication II					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	就職試験の英語の問題に対応できる英語力を養う。将来社会人として働くのに必要な基本						
学習計画	前期	Lesson 5~Lesson 8					
	後期	Lesson 9~Lesson 12					
評価の観点 評価の方法	定期試験の得点と課題の提出の得点によって。試験のポイントは練習問題を正しく理解し ているかどうか、学習した単語・語句をどれくらい覚えているかどうか。						
教師からの メッセージ	教科書の英文のポイントを理解し、ワークブックの問題を自分の力で解答できるようにな れば定期試験の得点も伸びます。一時間一時間を大切に授業を受けてください。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	英語演習				スタンダードコース		
教科書及び 使用教材等	英文法ワークショップ(桐原書店)				履修形態	必修	
					授業形態	演習中心授業	
科目の目標 ※目標資格等	1 英語の基礎的な語彙・文法を定着させ、正確に理解する力を身につける。 2 演習を通じて、文法力・表現力を総合的に高める。 3 英語の問題に主体的に取り組み、継続的に学習する姿勢を身に付ける。						
学習 計画	前期	Unit1 ~ Unit6					
	後期	Unit7 ~ Unit13					
評価の観点 評価の方法	定期テストや小テストに加え、以下の提出物・取り組みを総合的に評価する。 (家庭学習ノート、演習プリント、確認テストなど)						
教師からの メッセージ	英語演習は、日々の積み重ねによって力が伸びる科目です。問題を解くだけでなく、間違いを振り返ることが重要です。毎日の演習に真剣に取り組めば、必ず実力は向上します。継続して努力していきましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課 程
科目名	物理基礎						
教科書及び 使用教材等	教科書 新編 物理基礎 数研出版					履修形態	必修
	副教材 リードα 物理基礎 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	身近な物理現象や日常生活との関連から、物理に関する関心を高め、基本的な概念や原理・法則への理解につなげる。目的意識をもち観察・実験を行い、規則性や法則性を見いだす科学的に探究する能力と態度を養う。						
学習計画	前期	力学 ・運動の表し方 ・熱 ・熱とエネルギー 波動 ・波の性質 ・音 電磁気 ・物質と電気抵抗 ・交流と電磁波					
	後期						
評価の観点 評価の方法	授業態度、提出物、ノート提出、発問評価、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	物理学は身近な現象を解き明かしてきた学問です。今の生活に関わる多くの技術の基本原 理は物理によるものです。授業を通して、生活を豊かにしてきた科学技術の一端に触れ、 基本的な原理・法則を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課 程
科目名	生物						
教科書及び 使用教材等	教科書 生物 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα生物 東京書籍 ニューステージ新生物図表 浜島書店					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。						
学習計画	前期						
	後期	・生命現象と物質					
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	生物基礎に比べると、複雑な内容が多く、覚えることも多い教科です。ですが、各テーマ 間のつながりを意識し、生物という科目の全体像を構築していくと、興味深い教科だと思 っています。1年後期～3年後期まで長い期間になりますが、生物について探求をしてい きましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課 程
科目名	物理						
教科書及び 使用教材等	数研 高等学校理科用 物理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	物理現象の探究の課程を通して、科学の方法を習得し、科学的な自然観が形成できるように する。						
学習計画	前期						
	後期	第1編 力と運動（平面の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力）					
評価の観点 評価の方法	評価の観点：①関心、意欲、態度 ②思考、判断、表現 ③観察、実験 ④知識、理解 評価の方法：授業での学習の姿勢、実験参加の意欲と報告書の提出、定期考査、小テスト など						
教師からの メッセージ	楽しく理解しやすい授業を目指しています。 大学入試問題など重要問題を解き、大学受験に備えた高い学力を身につけ、難関大学現役合格 を目指しましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課 程
科目名	化学						
教科書及び 使用教材等	教科書 数研出版 化学					履修形態	選択
	副教材 リードα 化学基礎+化学					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行ない、 化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解 を深め、化学的な自然観を育成する。						
学習計画	前期						
	後期	第1編 物質の状態 第2編 物質の変化					
評価の観点 評価の方法	定期考査 小テスト 授業態度等を含め全般的に評価する						
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかりと行なってください						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	生物基礎					イノベーション特進コース	
教科書及び 使用教材等	教科書	生物基礎	数研出版	副教材	リードα生物基礎	数研出版	必修
							一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。						
学習計画	前期	・生物の特徴 ・遺伝子とそのはたらき ・ヒトの体内環境の維持 ・生物の生態系と多様性					
	後期						
評価の観点 評価の方法	プレゼンテーション、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	生物の楽しさを学びながら、論理的に自然事象を考えられる力を身につけましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	物理基礎					イノベーション特進コース	
教科書及び 使用教材等	教科書	新編 物理基礎	数研出版	副教材	リードα 物理基礎	数研出版	必修
							一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	身近な物理現象や日常生活との関連から、物理に関する関心を高め、基本的な概念や原理・法則への理解につなげる。目的意識をもち観察・実験を行い、規則性や法則性を見いだす科学的に探究する能力と態度を養う。						
学習計画	前期	力学 ・運動の表し方 ・運動の法則 ・仕事と力学的エネルギー 熱 ・熱とエネルギー 波動 ・波の性質 ・音 電磁気 ・物質と電気抵抗 ・交流と電磁波					
	後期						
評価の観点 評価の方法	授業態度、提出物、ノート提出、発問評価、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	物理学は身近な現象を解き明かしてきた学問です。今の生活に関わる多くの技術の基本原 理は物理によるものです。授業を通して、生活を豊かにしてきた科学技術の一端に触れ、 基本的な原理・法則を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	化学基礎					イノベーション特進コース	
教科書及び 使用教材等	教科書	数研出版	化学基礎	副教材	リードLightノート	化学基礎	必修
							一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探求する 能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方 や考え方を養う。						
学習計画	前期						
	後期	物質の構成 物質の変化					
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	日常生活の不思議なことは、化学で説明がつくことが多いと思います。これから化学基礎 を学んでいき、身近な事象や現象を化学的に理解していきましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	物理					イノベーション特進コース	
教科書及び 使用教材等	数研	高等学校理科用	物理				選択
							一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	物理現象の探究の課程を通して、科学の方法を習得し、科学的な自然観が形成できるように する。						
学習計画	前期						
	後期	第1編 力と運動（平面の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力）					
評価の観点 評価の方法	評価の観点：①関心、意欲、態度 ②思考、判断、表現 ③観察、実験 ④知識、理解 評価の方法：授業での学習の姿勢、実験参加の意欲と報告書の提出、定期考査、小テスト など						
教師からの メッセージ	楽しく理解しやすい授業を目指しています。 大学入試問題など重要問題を解き、大学受験に備えた高い学力を身につけ、難関大学現役合格 を目指しましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	生物					イノベーション特進コース	
教科書及び 使用教材等	教科書	生物 数研出版				履修形態	選択
	副教材	リードα生物 東京書籍 ニューステージ新生物図表 浜島書店					
授業形態	一斉授業						
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。						
学習計画	前期	/					
	後期						
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	生物基礎に比べると、複雑な内容が多く、覚えることも多い教科です。ですが、各テーマ間のつながりを意識し、生物という科目の全体像を構築していくと、興味深い教科だと思っています。1年後期～3年後期まで長い期間になりますが、生物について探求をしていきましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	物理基礎					ハイブリッド文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書	新編 物理基礎 数研出版				履修形態	必修
	副教材	リードα 物理基礎 数研出版					
授業形態	一斉授業						
科目の目標 ※目標資格等	身近な物理現象や日常生活との関連から、物理に関する関心を高め、基本的な概念や原理・法則への理解につなげる。目的意識をもち観察・実験を行い、規則性や法則性を見いだす科学的に探究する能力と態度を養う。						
学習計画	前期	力学 熱 ・運動の表し方 ・運動の法則 ・仕事と力学的エネルギー ・熱とエネルギー					
	後期	波動 電磁気 ・波の性質 ・音 ・物質と電気抵抗 ・交流と電磁波					
評価の観点 評価の方法	授業態度、提出物、ノート提出、発問評価、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	物理学は身近な現象を解き明かしてきた学問です。今の生活に関わる多くの技術の基本原理は物理によるものです。授業を通して、生活を豊かにしてきた科学技術の一端に触れ、基本的な原理・法則を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	生物基礎					ハイブリッド文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書	生物基礎 数研出版				履修形態	必修
	副教材	リードα生物基礎 数研出版					
授業形態	一斉授業						
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。						
学習計画	前期	・生物の特徴 ・遺伝子とそのはたらき					
	後期	・ヒトの体内環境の維持 ・生物の生態系と多様性					
評価の観点 評価の方法	プレゼンテーション、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	生物の楽しさを学びながら、論理的に自然事象を考えられる力を身につけましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	化学基礎					ハイブリッド文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書	数研出版 化学基礎				履修形態	選択
	副教材	リードlightノート 化学基礎					
授業形態	一斉授業						
科目の目標 ※目標資格等	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。						
学習計画	前期	物質の構成					
	後期	物質の変化					
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	日常生活の不思議なことは、化学で説明がつくことが多いと思います。これから化学基礎を学んでいき、身近な事象や現象を化学的に理解していきましょう。						

教科名	理科	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース	
科目名	科学と人間生活							
教科書及び 使用教材等	教科書	数研出版	科学と人間生活サポート			履修形態	必修	
	ノート 副教材	数研出版	科学と人間生活			授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	自然に対する理解や科学技術の発展が日常生活や社会に与えた影響と、それらが果たしてきた役割を学ぶ中で、科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高める。							
学習計画	前期	第1編 物質の科学 第2編 生命の科学						
	後期	第3編 光や熱の科学 第4編 宇宙や地球の科学						
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、提出物などを総合的に評価します。							
教師からの メッセージ	自然界に関わることや、科学分野と人間生活をひもつけた学習内容になります。身近な題材について観察や実験を通して学ぶことで、科学の実用性を実感して欲しいです。							

教科名	理科	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫課程	
科目名	生物							
教科書及び 使用教材等	教科書	生物	数研出版			履修形態	選択	
	副教材	リードα	生物+生物基礎	数研出版		授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。入試問題に対応できる思考力、判断力を養う。							
学習計画	前期	第3章 代謝					第4章 遺伝情報の発現と発生	
	後期	第5章 動物の反応と行動					第6章 植物の環境応答	
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。							
教師からの メッセージ	今年は第2編（遺伝子とそのはたらき）から第4編（生物の環境応答）までの内容を扱っていく予定です。生物の難しいしくみが多く掲載されている単元なので、一つ一つ丁寧に進めていきたいと思います。受験を意識して問題演習も取り入れながら各分野の理解を深めていきましょう。							

教科名	理科	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫課程	
科目名	物理							
教科書及び 使用教材等	数研 高等学校理科用 物理					履修形態	選択	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	物理現象の探究の課程を通して、科学の方法を習得し、科学的な自然観が形成できるようにする。							
学習計画	前期	第1編 カと運動 第2編 熱と気体 第3編 波						
	後期	第4編 電気と磁気 ※残部は3年次に行う						
評価の観点 評価の方法	評価の観点：①関心、意欲、態度 ②思考、判断、表現 ③観察、実験 ④知識、理解 評価の方法：授業での学習の姿勢、実験参加の意欲と報告書の提出、定期考査、小テストなど							
教師からの メッセージ	楽しく理解しやすい授業を目指しています。大学入試問題など重要問題を解き、大学受験に備えた高い学力を身につけ、難関大学現役合格を目指しましょう。							

教科名	理科	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程	
科目名	化学							
教科書及び 使用教材等	教科書	数研出版	化学			履修形態	選択	
	副教材	リードα	化学基礎+化学			授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行ない、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。							
学習計画	前期	第1編 物質の状態 第2編 物質の変化 第3編 無機物質						
	後期	第4編 有機化合物 第5編 天然有機化合物 第6編 合成有機化合物						
評価の観点 評価の方法	定期考査 小テスト 授業態度等を含め全般的に評価する							
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかりと行なってください							

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	生物基礎					履修形態	イノベーション特進コース
教科書及び 使用教材等	教科書	生物基礎	数研出版	履修形態		必修	
	副教材	リードα	生物基礎	数研出版	授業形態		一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。						
学習計画	前期	・生物の特徴 ・遺伝子とのはたらき ・ヒトの体内環境の維持 ・生物の生態系と多様性					
	後期						
評価の観点 評価の方法	プレゼンテーション、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	生物の楽しさを学びながら、論理的に自然事象を考えられる力を身につけましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	物理基礎					履修形態	イノベーション特進コース
教科書及び 使用教材等	教科書	新編 物理基礎	数研出版	履修形態		必修	
	副教材	リードα	物理基礎	数研出版	授業形態		一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	身近な物理現象や日常生活との関連から、物理に関する関心を高め、基本的な概念や原理・法則への理解につなげる。目的意識をもち観察・実験を行い、規則性や法則性を見いだす科学的に探究する能力と態度を養う。						
学習計画	前期	力学 ・運動の表し方 ・運動の法則 ・仕事と力学的エネルギー 熱 ・熱とエネルギー 波動 ・波の性質 ・音 電磁気 ・物質と電気抵抗 ・交流と電磁波					
	後期						
評価の観点 評価の方法	授業態度、提出物、ノート提出、発問評価、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	物理学は身近な現象を解き明かしてきた学問です。今の生活に関わる多くの技術の基本原 理は物理によるものです。授業を通して、生活を豊かにしてきた科学技術の一端に触れ、 基本的な原理・法則を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	物理					履修形態	イノベーション特進コース
教科書及び 使用教材等	教科書	物理	数研出版	履修形態		選択	
	副教材	リードα	物理基礎・物理	数研出版	授業形態		一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	身近な物理現象や日常生活との関連から、物理に関する関心を高め、基本的な概念や原理・法則への理解につなげる。目的意識をもち観察・実験を行い、規則性や法則性を見いだす科学的に探究する能力と態度を養う。運動や熱・気体、波に関してより発展的な内容も扱い、物理に関する知識・理解を深める。						
学習計画	前期						
	後期	第1編 力と運動（平面の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力） 第2編 熱 第3編 波					
評価の観点 評価の方法	授業態度、提出物、ノート提出、発問評価、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	物理学は身近な現象を数式などを用いて解き明かしてきた学問です。今の生活に関わる多 くの技術の基本原理解は物理によるものです。学んできた科学技術の知識・理解をより深 め、さらなる物理学の原理・法則を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	生物					履修形態	イノベーション特進コース
教科書及び 使用教材等	教科書	生物	数研出版	履修形態		選択	
	副教材	リードα	生物+生物基礎	数研出版	授業形態		一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。 入試問題に対応できる思考力、判断力を養う。						
学習計画	前期						
	後期	第1章 生物の進化 第2章 細胞と分子 第3章 代謝					
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	今年第2編（遺伝子とのはたらき）から第4編（生物の環境応答）までの内容を 扱っていく予定です。生物の難しいしくみが多く掲載されている単元なので、一つ一つ丁寧 に進めていきたいと思っています。受験を意識して問題演習も取り入れながら各分野の理解 を深めていきましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション特進コース
科目名	化学					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	教科書 数研出版 化学 副教材 リードα 化学基礎+化学					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行ない、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。						
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法	定期考査 小テスト 授業態度等を含め全般的に評価する						
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかりと行なってください						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	生物基礎					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	教科書 生物基礎 数研出版 副教材 リードα生物基礎 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。						
学習計画	前期	・生物の特徴 ・遺伝子とそのはたらき ・ヒトの体内環境の維持 ・生物の生態系と多様性					
	後期						
評価の観点 評価の方法	プレゼンテーション、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	生物の楽しさを学びながら、論理的に自然事象を考えられる力を身につけましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション特進コース
科目名	地学基礎					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	高等学校地学基礎 第一学習社					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。・宇宙の誕生と地球の形成について観察、実験などを通して探究し、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解させる。・変動する地球について観察、実験などを通して探究し、地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたことを理解する。また、地球の環境と人間生活とのかかわりについて理解する。						
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査						
教師からの メッセージ	私が担当させて頂く「地学」という学問は、まだまだ解明されていないことが多く、非常に面白い、「夢」を感じられる学問です。「地球」「宇宙」「星座」「天気」「海」「岩」という言葉に少しでも関心があるならば、地学を学ぶ理由になります。幸いにも日本は海に囲まれ、地震が毎日発生するなど、自然のエネルギーに満ちており、学ぶには最適な環境です。また現在は、地球温暖化やオゾンホール、エネルギー資源といった地球的な問題を抱えており、地学において社会と科学の接点を伝え、科学的な素養を身につける最適な学問です。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	物理基礎					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	教科書 新編 物理基礎 数研出版 副教材 リードα 物理基礎 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	身近な物理現象や日常生活との関連から、物理に関する関心を高め、基本的な概念や原理・法則への理解につなげる。目的意識をもち観察・実験を行い、規則性や法則性を見いだす科学的に探究する能力と態度を養う。						
学習計画	前期	力学 ・運動の表し方 ・運動の法則 ・仕事と力学的エネルギー 熱 ・熱とエネルギー 波動 ・波の性質 ・音 電磁気 ・物質と電気抵抗 ・交流と電磁波					
	後期						
評価の観点 評価の方法	授業態度、提出物、ノート提出、発問評価、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	物理学は身近な現象を解き明かしてきた学問です。今の生活に関わる多くの技術の基本原理解は物理によるものです。授業を通して、生活を豊かにしてきた科学技術の一端に触れ、基本的な原理・法則を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	物理					履修形態	ハイブリッド文理コース
教科書及び 使用教材等	教科書 物理 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα 物理基礎・物理 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	身近な物理現象や日常生活との関連から、物理に関する関心を高め、基本的な概念や原理・法則への理解につなげる。目的意識をもち観察・実験を行い、規則性や法則性を見いだす科学的に探究する能力と態度を養う。運動や熱・気体、波に関してより発展的な内容も扱い、物理に関する知識・理解を深める。						
学習計画	前期	/					
	後期						
評価の観点 評価の方法	授業態度、提出物、ノート提出、発問評価、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	物理学は身近な現象を数式などを用いて解き明かしてきた学問です。今の生活に関わる多くの技術の基本原理は物理によるものです。学んできた科学技術の知識・理解をより深め、さらなる物理学の原理・法則を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	生物					履修形態	ハイブリッド文理コース
教科書及び 使用教材等	教科書 生物 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα 生物+生物基礎 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学ぶ。入試問題に対応できる思考力、判断力を養う。						
学習計画	前期	/					
	後期						
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	今年は第2編（遺伝子とそのはたらき）から第4編（生物の環境応答）までの内容を扱っていく予定です。生物の難しいしくみが多く掲載されている単元なので、一つ一つ丁寧に進めていきたいと思います。受験を意識して問題演習も取り入れながら各分野の理解を深めていきましょう。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	化学					履修形態	ハイブリッド文理コース
教科書及び 使用教材等	教科書 数研出版 化学					履修形態	選択
	副教材 リードα 化学基礎+化学					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行ない、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。						
学習計画	前期	/					
	後期						
評価の観点 評価の方法	定期考査 小テスト 授業態度等を含め全般的に評価する						
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかりと行なってください						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	地学基礎					履修形態	ハイブリッド文理コース
教科書及び 使用教材等	高等学校地学基礎 第一学習社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。・宇宙の誕生と地球の形成について観察、実験などを通して探究し、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解させる。・変動する地球について観察、実験などを通して探究し、地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたことを理解する。また、地球の環境と人間生活とのかかわりについて理解する。						
学習計画	前期	/					
	後期						
評価の観点 評価の方法	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査						
教師からの メッセージ	私が担当させて頂く「地学」という学問は、まだまだ解明されていないことが多く、非常に面白い、「夢」を感じられる学問です。「地球」「宇宙」「星座」「天気」「海」「岩」という言葉に少しでも関心があるならば、地学を学ぶ理由になります。幸いにも日本は海に囲まれ、地震が毎日発生するなど、自然のエネルギーに満ちており、学ぶには最適な環境です。また現在は、地球温暖化やオゾンホール、エネルギー資源といった地球的な問題を抱えており、地学において社会と科学の接点を伝え、科学的な素養を身につける最適な学問です。						

教科名	理科	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 アドバンス文系コース
科目名	化学基礎						
教科書及び 使用教材等	教科書 化学基礎 東京書籍					履修形態	必修
	副教材 ニューサポート化学基礎 東京書籍					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。						
学習計画	前期	物質の構成					
	後期	物質の変化					
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	日常生活の不思議なことは、化学で説明がつくことが多いと思います。これから化学基礎を学んでいき、身近な事象や現象を化学的に理解していきましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	化学						
教科書及び 使用教材等	教科書 数研出版 化学					履修形態	選択
	副教材 リードα 化学基礎+化学					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行ない、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。						
学習計画	前期	入試問題演習					
	後期	入試問題演習					
評価の観点 評価の方法	定期考査 小テスト 授業態度等を含め全般的に評価する						
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかりと行なってください						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	物理						
教科書及び 使用教材等	教科書 物理 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα 物理基礎・物理 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	物理現象の探究の課程を通して、科学の方法を習得し、科学的な自然観が形成できるようにする。						
学習計画	前期	第4編 電気と磁気 第5編 原子					
	後期	大学入試問題（国公立二次対策問題、私大対策問題）解法の研究を行なう					
評価の観点 評価の方法	評価の観点：①関心、意欲、態度 ②思考、判断、表現 ③観察、実験 ④知識、理解 評価の方法：授業での学習の姿勢、実験参加の意欲と報告書の提出、定期考査、小テストなど						
教師からの メッセージ	楽しく理解しやすい授業を目指しています。 大学入試問題など重要問題を解き、大学受験に備えた高い学力を身につけ、難関大学現役合格を目指しましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	生物						
教科書及び 使用教材等	教科書 生物 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα生物基礎+生物 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学び、様々な生命現象、データやグラフより科学的に考えられる能力を養う。						
学習計画	前期	・生物群集と生態系 ・入試問題演習					
	後期	・入試問題演習					
評価の観点 評価の方法	ワークシート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	科学的な視野を持ち、様々な生命現象について、一緒に考えていきましょう。今年3年生なので、今まで以上に理科の勉強時間が増えます。生物基礎から生物まで3年間学んだことを活かし、根気を持って受験まで一緒に戦いましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 イノベーション探究 コース
科目名	物理						
教科書及び 使用教材等	教科書 物理 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα 物理 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	物理現象の探究の課程を通して、科学の方法を習得し、科学的な自然観が形成できるようにする。						
学習計画	前期	第2編 熱と気体 第3編 波 第4編 電気と磁気					
	後期	第4編 電気と磁気 第5編 原子					
評価の観点 評価の方法	定期考査、実験レポート						
教師からの メッセージ	楽しみながら一緒に学べる授業を目指しています。 予習・復習を行いながら、物理学の基礎的な事項を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 イノベーション探究 コース
科目名	生物						
教科書及び 使用教材等	教科書 生物 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα生物基礎+生物 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学び、様々な生命現象、データやグラフより科学的に考えられる能力を養う。						
学習計画	前期	・代謝 ・遺伝情報の発現と発生 ・動物の反応と行動 ・植物の環境応答					
	後期	・生物群集と生態系					
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	科学的な視野を持ち、様々な生命現象について、一緒に考えていきましょう。今年は3年生なので、今まで以上に理科の勉強時間が増えます。生物基礎から生物まで3年間学んだことを活かし、根気を持って受験まで一緒に戦いましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程 イノベーション探究 コース
科目名	化学						
教科書及び 使用教材等	教科書 数研出版 化学					履修形態	選択
	副教材 リードα 化学基礎+化学					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	化学的な事象・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。						
学習計画	前期	物質の変化 無機化合物 有機化合物					
	後期	天然高分子化合物 合成高分子化合物 受験対策					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、課題提出などを含め、総合的に判断します。						
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかりと行いましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリット分離コース
科目名	化学						
教科書及び 使用教材等	教科書 数研出版 化学					履修形態	選択
	副教材 リードα 化学基礎+化学					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	化学的な事象・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。						
学習計画	前期	物質の変化 無機化合物 有機化合物					
	後期	天然高分子化合物 合成高分子化合物 受験対策					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、課題提出などを含め、総合的に判断します。						
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかりと行いましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリット分離コース
科目名	物理						
教科書及び 使用教材等	教科書 物理 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα 物理 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	物理現象の探究の課程を通して、科学の方法を習得し、科学的な自然観が形成できるようにする。						
学習計画	前期	第2編 熱と気体 第3編 波 第4編 電気と磁気					
	後期	第4編 電気と磁気 第5編 原子					
評価の観点 評価の方法	定期考査、実験レポート						
教師からの メッセージ	楽しみながら一緒に学べる授業を目指しています。 予習・復習を行いながら、物理学の基礎的な事項を学んでいきましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリット分離コース
科目名	生物						
教科書及び 使用教材等	教科書 生物 数研出版					履修形態	選択
	副教材 リードα生物基礎+生物 数研出版					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	日常生活との関連を考えながら、生物学の基本的な概念や原理・法則を学び、様々な生命現象、データやグラフより科学的に考えられる能力を養う。						
学習計画	前期	・代謝 ・遺伝情報の発現と発生 ・動物の反応と行動 ・植物の環境応答					
	後期	・生物群集と生態系					
評価の観点 評価の方法	ノート検査、提出物、授業態度、定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	科学的な視野を持ち、様々な生命現象について、一緒に考えていきましょう。今年が3年生なので、今まで以上に理科の勉強時間が増えます。生物基礎から生物まで3年間学んだことを活かし、根気を持って受験まで一緒に戦いましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 アドバンス文系コース
科目名	地学基礎						
教科書及び 使用教材等	教科書 第一学習社 改訂地学基礎					履修形態	必修
	副教材 地学基礎の基本マスター					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	地球および周囲の宇宙について重要な基礎知識を学び、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地球や宇宙という巨大な複合システムを統合的な視点から理解できるように育成する。						
学習計画	前期	第1部 固体地球とその変動 第2部 移り変わる地球					
	後期	第3部 大気と海洋 第4部 宇宙の構成					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、提出物などを総合的に評価します。						
教師からの メッセージ	これからの地球の未来を背負う生徒たちに、地学基礎という教科を通して、科学的視野を身に着けてほしいと思います。地球規模の様々な現象を科学的視野を持って探究していきましょう。						

教科名	理科	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 スタンダード コース
科目名	地学基礎						
教科書及び 使用教材等	教科書 第一学習社 改訂地学基礎					履修形態	必修
	副教材 地学基礎の基本マスター					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	地球および周囲の宇宙について重要な基礎知識を学び、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地球や宇宙という巨大な複合システムを統合的な視点から理解できるように育成する。						
学習計画	前期	第1部 固体地球とその変動 第2部 移り変わる地球					
	後期	第3部 大気と海洋 第4部 宇宙の構成					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、提出物などを総合的に評価します。						
教師からの メッセージ	これからの地球の未来を背負う生徒たちに、地学基礎という教科を通して、科学的視野を身に着けてほしいと思います。地球規模の様々な現象を科学的視野を持って探究していきましょう。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 コース
科目名	歴史総合						
教科書及び 使用教材等	教科書：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 副教材：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノー ト」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に 立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な 公民としての資質・能力を育成することをめざす。						
学習 計画	前期	○結びつく世界と日本の開国 ○国民国家と明治維新 ○総力戦と社会運動					
	後期	○経済危機と第二次世界大戦 ○冷戦と世界経済 ○世界秩序の変容と日本					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の歴史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理 解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな 流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	歴史総合						
教科書及び 使用教材等	教科書：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 副教材：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノー ト」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に 立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な 公民としての資質・能力を育成することをめざす。						
学習 計画	前期	○結びつく世界と日本の開国 ○国民国家と明治維新 ○総力戦と社会運動					
	後期	○経済危機と第二次世界大戦 ○冷戦と世界経済 ○世界秩序の変容と日本					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の歴史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理 解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな 流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	歴史総合						ハイブリット文理コース
教科書及び 使用教材等	教科書：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 副教材：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノー ト」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に 立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な 公民としての資質・能力を育成することをめざす。						
学習 計画	前期	○結びつく世界と日本の開国 ○国民国家と明治維新 ○総力戦と社会運動					
	後期	○経済危機と第二次世界大戦 ○冷戦と世界経済 ○世界秩序の変容と日本					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の歴史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理 解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな 流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	歴史総合						普通 コース
教科書及び 使用教材等	教科書：新選 歴史総合 副教材：新選 歴史総合ワークノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①近現代史を中心とする日本・世界の歴史から、現代社会を理解すること。 ②諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代の諸課題を歴史的観点から考 察すること。 ③歴史的思考力を培い、グローバル社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養うこと。						
学習 計画	前期	○歴史の扉 ○近代化と私たち					
	後期	○近代化と私たち国際秩序の変化や大衆化と私たち ○グローバル化と私たち					
評価の観点 評価の方法	○定期考査 ○ワークノート提出 ○レポート・グループワーク課題						
教師からの メッセージ	日本だけでなく世界の国々に興味を持ち、 将来、海外で活躍する生徒が出てきてほしい。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 コース
科目名	日本史探究						
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史』山川出版社 副教材：『図説日本史通覧』帝国書院、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストをはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	原始・古代～平安中期（摂関政治・国風文化）まで					
	後期	平安後期（国司の地方支配）～安土・桃山（桃山文化）まで					
評価の観点 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査の点数（知識、思考力・判断力・表現力） ○提出物（ワークノート）の提出状況（主体的に学ぶ態度） ○確認テストの点数（主体的に学ぶ態度） ○授業中の（質問などに対する）発言回数、授業態度（主体的に学ぶ態度） ○授業中の（質問などに対する）発言内容（思考力・判断力・表現力） 						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	地理探究						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	地理探究は、地理的なものの見方や考え方を学び、国際人として生きていく力を養う科目です。学習にあたっての到達目標は次の通りです。 ①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。						
学習計画	前期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業					
	後期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第3章 交通・通信と観光、貿易 第4章 人口、村落・都市					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視します。						
教師からの メッセージ	まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース
科目名	日本史探究						
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史』山川出版社 副教材：『図説日本史通覧』帝国書院、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストをはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	原始・古代～平安中期（摂関政治・国風文化）まで					
	後期	平安後期（国司の地方支配）～安土・桃山（桃山文化）まで					
評価の観点 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査の点数（知識、思考力・判断力・表現力） ○提出物（ワークノート）の提出状況（主体的に学ぶ態度） ○確認テストの点数（主体的に学ぶ態度） ○授業中の（質問などに対する）発言回数、授業態度（主体的に学ぶ態度） ○授業中の（質問などに対する）発言内容（思考力・判断力・表現力） 						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	地理探究						イノベーション探究コース
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	地理探究は、地理的なものの見方や考え方を学び、国際人として生きていく力を養う科目です。学習にあたっての到達目標は次の通りです。 ①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。						
学習計画	前期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境					
	後期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視します。						
教師からの メッセージ	まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	日本史探究					ハイブリット文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史』山川出版社 副教材：『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストや私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	原始・古代～平安中期（摂関政治・国風文化）まで					
	後期	平安後期（国司の地方支配）～江戸中期（元禄時代）まで					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数（知識、思考力・判断力・表現力） ○提出物（ワークノート）の提出状況（関心・意欲・態度） ○確認テストの点数（知識） ○授業中の（質問などに対する）発言回数、授業態度（関心・意欲・態度）						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	日本史探究					アドバンス文系コース	
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史』山川出版社 副教材：『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストや私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	原始・古代～平安中期（摂関政治・国風文化）まで					
	後期	平安後期（国司の地方支配）～江戸中期（元禄時代）まで					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数（知識、思考力・判断力・表現力） ○提出物（ワークノート）の提出状況（関心・意欲・態度） ○確認テストの点数（知識） ○授業中の（質問などに対する）発言回数、授業態度（関心・意欲・態度）						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	地理探究					ハイブリット文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境					
	後期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視します。						
教師からの メッセージ	まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 コース
科目名	日本史探究						
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史』山川出版社 副教材：『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストをはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	近世（幕藩体制の成立以降）、近・現代（戦後史）まで * 中世までは2年次の「日本史探究」で学習済み * 近・現代の戦前までは1年次の「歴史総合」で学習済み					
	後期	共通テスト対策、入試演習					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数（知識、思考力・判断力・表現力） ○提出物（ワークノート）の提出状況（主体的に学ぶ態度） ○確認テストの点数（主体的に学ぶ態度） ○授業中の（質問などに対する）発言回数、授業態度（主体的に学ぶ態度） ○授業中の（質問などに対する）発言内容（思考力・判断力・表現力）						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	地理探究						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理 大学入学共通テスト対策問題集					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。 以上の三点に加え、地理的思考力を発揮して大学入学共通テストにおいて7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習 計画	前期	第1部 第4章 人口、村落・都市 第5章 生活文化、民族・宗教 第2部 現代世界の地誌的考察 (アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)					
	後期	大学入試センター試験および大学入学共通テストの過去問、全国模試の過去問、共通テスト予想問題を使って数多く演習していきます。60分の問題を50分以内で解きます。マーク式に慣れ、解答スピードを速める練習でもあります。					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追っていたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	地理探究						イノベーション探究コース
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習 計画	前期	第1部 第2章 資源と産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 第4章 人口、村落・都市					
	後期	第1部 第5章 生活文化、民族・宗教 第2部 現代世界の地誌的考察 (アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追っていたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	地理探究で学んだことが、広い視野に立って国際社会と国土の在り方について探究し、持続可能な社会づくりに向けて行動を起こすきっかけになることを期待しています。						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	イノベーション探究コース
科目名	日本史探究						
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史』山川出版社 副教材:『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストや私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習 計画	前期	中世(鎌倉時代の社会史)～近世(鎖国政策)まで *中世以前については2年次の「日本史探究」で学習済み					
	後期	近世(寛永期の文化以降)、近・現代(戦後史)まで *近・現代の戦前までは3年次の課外授業で学習します。					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数(知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物(ワークノート)の提出状況(主体的に学ぶ態度) ○確認テストの点数(主体的に学ぶ態度) ○授業中の(質問などに対する)発言回数、授業態度(主体的に学ぶ態度) ○授業中の(質問などに対する)発言内容(思考力・判断力・表現力)						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル(18～19C)の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	日本史探究						
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史』山川出版社 副教材:『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストや私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習 計画	前期	中世(鎌倉時代の社会史)～近世(鎖国政策)まで *中世以前については2年次の「日本史探究」で学習済み					
	後期	近世(寛永期の文化以降)、近・現代(戦後史)まで *近・現代の戦前までは3年次の課外授業で学習します。					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数(知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物(ワークノート)の提出状況(主体的に学ぶ態度) ○確認テストの点数(主体的に学ぶ態度) ○授業中の(質問などに対する)発言回数、授業態度(主体的に学ぶ態度) ○授業中の(質問などに対する)発言内容(思考力・判断力・表現力)						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル(18～19C)の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	地理探究					ハイブリット文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	第1部 第2章 資源と産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 第4章 人口、村落・都市					
	後期	第1部 第5章 生活文化、民族・宗教 第2部 現代世界の地誌的考察 (アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期調査の点数、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	地理探究で学んだことが、広い視野に立って国際社会と国土の在り方について探究し、持続可能な社会づくりに向けて行動を起こすきっかけになることを期待しています。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	地理総合					アドバンス文系コース	
教科書及び 使用教材等	教科書:『新地理総合』帝国書院 ワーク:『新地理総合ノート』帝国書院					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力					
	後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち					
評価の観点 評価の方法	定期調査 提出物 授業への取り組み						
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	アドバンスコース
科目名	日本史探究						
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史』山川出版社 副教材:『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	中世 (東アジアとの交易) ～近世 (元禄文化) まで * 中世以前については2年次の「日本史探究」で学習済み					
	後期	近世 (江戸時代の三大改革以降)、近・現代 (戦後史) まで * 近・現代の戦前までは1年次の「歴史総合」で学習済み					
評価の観点 評価の方法	○定期調査の点数 (知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物 (ワークノート) の提出状況 (主体的に学ぶ態度) ○確認テストの点数 (主体的に学ぶ態度) ○授業中の (質問などに対する) 発言回数、授業態度 (主体的に学ぶ態度) ○授業中の (質問などに対する) 発言内容 (思考力・判断力・表現力)						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル (18～19C) の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく!						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	地理総合					スタンダードコース	
教科書及び 使用教材等	教科書:『新地理総合』帝国書院 ワーク:『新地理総合ノート』帝国書院					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力					
	後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち					
評価の観点 評価の方法	定期調査 提出物 授業への取り組み						
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。						

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	公共						
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習 計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の政治と政治参加の意義					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	公共						イノベーション特進
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習 計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の政治と政治参加の意義					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	公共						ハイブリット文理
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習 計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	公共						普通
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習 計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	公共						
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	公共						イノベーション特進
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	公共						ハイブリット文理
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	政治経済						アドバンス文系コース
教科書及び 使用教材等	教科書 最新政治・経済(実教出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。						
学習計画	前期	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原理 第2節 日本国憲法の基本原理 第3節 日本の政治機構 第4節 現代政治の特質と課題 第5節 現代の国際政治					
	後期	第2章 現代の経済 第1節 経済社会の文脈 第2節 現代経済のしくみ 第3節 日本経済の発展と課題 第4節 労働と社会保障					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。 物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	政治経済					スタンダードコース	
教科書及び 使用教材等	教科書 最新政治・経済(実教出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習 計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	現在の世の中の仕組みをニュース、私生活を通して一緒に理解し、頑張りましょう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社) 最新図説政経 政治・経済ノート					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習 計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	現在の世の中の仕組みを新聞を活用して学習する時間があります。主体的に取り組むことを期待しています。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	政治経済					イノベーション探究コース	
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社) 最新図説政経 政治・経済ノート					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習 計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	現在の世の中の仕組みを新聞を活用して学習する時間があります。主体的に取り組むことを期待しています。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	政治経済					ハイブリット文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習 計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	現在の世の中の仕組みを新聞を活用して学習する時間があります。主体的に取り組むことを期待しています。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	倫理					履修形態	アドバンス文系
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。						
学習 計画	前期	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術の自覚					
	後期	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 第4編 国際社会に生きる日本人 第1章 日本の風土と外来思想の受容					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度						
教師からの メッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	倫理					履修形態	スタンダードコース
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。						
学習 計画	前期	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術の自覚					
	後期	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 第4編 国際社会に生きる日本人 第1章 日本の風土と外来思想の受容					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度						
教師からの メッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名						履修形態	Ⅱ コース
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等							
学習 計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名						履修形態	Ⅲ コース
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等							
学習 計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							